

九州・沖縄地区の3月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比5.4%減、福岡県は8.2%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、3月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比5.4%減の合計65万6,189m³。

3月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比8.2%増の24万4,926m³、「佐賀県」同15.9%減の2万163m³、「長崎県」同3.9%減の5万4,098m³、「熊本県」同10.6%減の10万1,888m³、「大分県」20.1%減の5万9,937m³、「鹿児島県」同14.8%減の6万9,947m³、「沖縄県」同9.3%減の10万5,230m³。福岡県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比1.7%減の267万5,765m³、「佐賀県」同5.7%減の30万1,289m³、「長崎県」同12.1%減の64万418m³、「熊本県」同15.5%減の117万1,778m³、「大分県」7.1%減の75万4,656m³、「鹿児島県」同14.8%減の89万4,498m³、「沖縄県」同7.6%減の129万1,509m³。九州6県と沖縄すべて昨年より減少した。が好調に推移している。